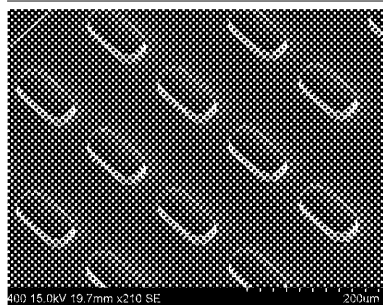


奥野製薬工業(大阪
市中央区、奥野和義社

奥野製薬、新ブランド 半導体向けメッキ薬拡充



100 15.0kV 19.7mm x2.10 SE

長は、半導体向けメッキ薬の新ブランド「トライザ」を立ち上げ、販売を始めた。ウエハーの処理に使われるメッキ添加剤など10種類以

上を扱い、今後もラインアップを拡充する。新ブランド展開で半導体関連を強化する姿勢を明確にする。

サーバー・データセンター向けハイエンド半導体や、パワー半導体に使われるメッキ薬を重点的に扱う。これまで販売してきた製品も成分を調整し、パンプ高さの均一性に優れる「トライザL CNSP」

した上で新ブランドとして販売する。

同社の2022年3月期の売上高は約277億円で、25年同期までに約400億円の達成を目指している。うち300億円程度を金属などの表面処理事業が占める見通しで「その約10%を、新ブランドを含む半導体向けメッキ薬で稼いでいきたい」(西城信吾、デジタル戦略統括部長)としている。